

## ＜銀河丸機関室機器名称及び役割一覧＞

図面番号	名称及び役割
1	<b>主機潤滑油サンプタンク (Main Engine Lubricating Oil Sump Tank)</b> 主機で使用されるシステム油を溜めておく。主機各部を潤滑したシステム油は再び戻ってくる。
2	<b>主機潤滑油ポンプ (Main Engine Lube Oil Pump)</b> 主機各部 (各軸受、ピストン、過給機) に潤滑油を供給する。また、その一部はカム軸LOブースタポンプで加圧された後カム軸受等を潤滑する。
3	<b>主機潤滑油冷却器 (Main Engine Lube Oil Cooler)</b> 主機関各部を潤滑・冷却した潤滑油を、低温冷却清水で冷却する。
4	<b>排気弁駆動油ポンプ (Main Engine Exh, Valve driving Pump)</b> 主機排気弁を駆動する為の潤滑油ポンプ
5	<b>可変ピッチプロペラ変節油移送ポンプ (C. P. P. Control Oil Transfer Pump)</b> 可変ピッチプロペラの変節に使用する作動油を、CPP LOサンプタンクからCPP変節油重カタンクへ移送する。
6	<b>可変ピッチプロペラ変節油冷却器 (C. P. P. Control Oil Cooler)</b> 可変ピッチプロペラの変節に使用する作動油を低温冷却清水で冷却する。
7	<b>船尾管潤滑油ポンプ (Stern Tube Lube Oil Pump)</b> 船尾管の潤滑、冷却及びシールのための潤滑油を送る。
8	<b>船尾管潤滑油冷却器 (Stern Tube Lube Oil Cooler)</b> 船尾管を潤滑・冷却する潤滑油を低温冷却清水で冷却する。
9	<b>潤滑油清浄機 (Lubricating Oil Purifier)</b> 主機または発電機原動機で使用されるシステム油中の水分とスラッジ分を取り除く。
10	<b>清浄機潤滑油加熱器 (Lubricating Oil Heater for Purifier)</b> 潤滑油清浄機で処理される潤滑油を適正粘度にするために蒸気で加熱する。
11	<b>燃料油清浄機 (Fuel Oil Purifier)</b> FOセトリングタンクの燃料油中の水分とスラッジ分を取り除き、FOサービスタンクに送る。水分とスラッジ分はFOスラッジタンクへ定期的に排出される。
12	<b>清浄機燃料油加熱器 (Fuel Oil Heater for Purifier)</b> 燃料油清浄機で処理される燃料油を適正粘度にするために蒸気で加熱する。
13	<b>A重油清浄機 (Diesel Oil Purifier)</b> DOセトリングタンクの燃料油中の水分とスラッジ分を取り除き、DOサービスタンクに送る。水分とスラッジ分はDOスラッジタンクへ定期的に排出される。
14	<b>FO常用タンク (Fuel Oil Service Tank)</b> 清浄機で清浄された燃料油を蓄え、主機及び補助ボイラに使用される。タンク底部に加熱蒸気管が装備されている。

15	<b>FO澄ましタンク (Fuel Oil Settling Tank)</b> 二重底タンクから移送された燃料油中の不純物、水分を沈殿・分離させる。タンク底部に加熱蒸気管が装備されている。
16	<b>燃料油戻り油タンク (Air separation chamber)</b> FO系統内の戻り油を溜めるチャンバー（空間）で、系統内の空気、ガスを連続的に分離排出すると共に、燃料油切替時のその温度変化を緩やかにする。なお、上部にガス抜き弁を設けている。
17	<b>主機燃料油供給ポンプ (Main Engine Fuel Oil Supply Pump)</b> FO / DOサービスタンクからの燃料を主機燃料油循環ポンプに供給する。
18	<b>主機燃料油循環ポンプ (Main Engine Fuel Oil Circulating Pump)</b> 主機燃料油供給ポンプから送られた燃料油をさらに加圧し、主機燃料噴射ポンプに供給する。加圧することでベーパーロックを防止し、低質燃料油の使用を可能にしている。余剰燃料油は主機燃料油ベントタンクを介して、ポンプの吸入側へ戻る。
19	<b>主機燃料油加熱器 (Fuel Oil Heater for Main Engine)</b> 主機で使用する燃料油を適正粘度にするために蒸気で加熱する。加熱温度は粘度調節器で制御される。
20	<b>主機燃料油粘度調整装置 (Main Engine Fuel Oil Viscosity Controller)</b> 主機で使用する燃料油が適正粘度になるように、燃料油加熱器への蒸気量を加減して燃料油の加熱温度を制御する。
21	<b>燃料油移送ポンプ (Fuel Oil Transfer Pump)</b> C重油をタンク相互間に移送するポンプ。通常、C重油の船底タンクからC重油セトリングタンクへC重油を移送する。
22	<b>ジャケット冷却清水ポンプ (Jacket Cooling Fresh Water Pump)</b> 主機シリンダジャケット、シリンダカバー及び排気弁に冷却清水を送り、冷却する。
23	<b>高温冷却清水冷却器 (High Temp. Cooling Fresh Water Cooler)</b> セントラルクーリング方式にて高温冷却清水（ディーゼル機関のジャケット冷却清水）を海水で冷やす冷却器
24	<b>高温冷却清水膨張タンク (Expansion Tank for High Temp. Cooling Fresh Water)</b> ディーゼル機関の冷却清水系統にヘッド圧を与えるほか系統内の空気抜き、清水の熱膨張の吸収、防錆剤・清水の補給の為に設置されるタンク
25	<b>低温冷却清水膨張タンク (Expansion Tank for Low Temp. Cooling Fresh Water)</b> 低温冷却清水ポンプにヘッド圧を与えるほか系統内の空気抜き、清水の熱膨張の吸収、防錆剤・清水の補給の為に設置されるタンク
L26	<b>油水分離器 (Oily Water Separator)</b> ビルジ中に含まれる油分と水分を、分離板とフィルターを用いて分離する。油分はセパレートオイルタンクへ、水分は船外へ排出される。

L27	<b>油水分離器用ビルジポンプ (Oily Water Separate Bilge Pump)</b> 機関室・補機室のビルジウェイ、コファダムのビルジをビルジタンクへ移送する。また、ビルジタンクのビルジを油水分離器を通して船外に排出する。
L28	<b>スラッジポンプ (Sludge Pump)</b> スラッジタンク、ビルジセパレートオイルタンク内のスラッジを移送するポンプ
L29	<b>中間軸受 (Intermediate Shaft Bearing)</b> 中間軸を支える軸受で3箇所設置されている。軸受メタルにはホワイトメタルが使用される。
L30	<b>低温冷却清水ポンプ (Low Temp. Cooling Fresh Water Pump)</b> 船内の各冷却器に低温の冷却清水を送り、循環させる。温まった冷却清水はセントラル冷却清水冷却器にて所定の温度に冷却される。
L31	<b>主冷却海水ポンプ (Main Cooling Sea Water Pump)</b> セントラル清水冷却器に海水を送る。通常は1台の運転であるが、海水温度により運転台数を調整する。
L32	<b>空気冷却器 (Air Cooler)</b> ディーゼル機関の過給空気を清水で冷却する器
L33	<b>排ガスエコマイザ (Exhaust Gas Economizer)</b> ボイラ水循環ポンプで送られたボイラ水を主機関の排気ガスを利用して暖め、蒸気を発生させる。飽和状態となったボイラ水は補助ボイラに戻った後に汽水分離される。
L34	<b>補助ボイラ (Auxiliary Boiler)</b> 燃料油をバーナで燃焼させ、船内各所で使用する蒸気を発生する。
L35	<b>自動燃焼制御装置 (Auto Combustion Controller)</b> ボイラの負荷変動や水位に対して燃料油や給水の供給量の調節及び始動停止を自動的に制御する装置
L36	<b>ボイラ燃料油加熱器 (Fuel Oil Heater for Auxiliary Boiler)</b> 補助ボイラ用の燃料油を適正粘度まで加熱し、主バーナでの燃料油の噴霧を良好にしている。
L37	<b>大気圧復水器 (Atmospheric Condenser)</b> 各燃料油・潤滑油タンクの加熱、各加熱器の蒸気ドレンを、低温冷却清水で冷却し復水する。
L38	<b>カスケードタンク (Feed Filter Tank)</b> 補助ボイラへの給水（復水及び補給水ライン）中に含まれる油分、不純物を取り除く。
L39	<b>給水ポンプ (Feed Water Pump)</b> 補助ボイラにフィードフィルタタンクから給水（蒸留水または雑用清水）を送るポンプ。

L40	<b>サニタリポンプ (Sanitary Pump)</b> 浴室や便所などに海水を送るポンプ
L41	<b>清水ポンプ (Fresh Water Pump)</b> 浴室、調理室、居住区などに清水を送るポンプで清水タンク相互間の移動に使用することもある
L42	<b>飲料水ポンプ (Drinking Water Pump)</b> 飲料清水を送るポンプ
L43	<b>サニタリ圧カタンク (Sanitary Hydrophore Pressure Tank)</b> 船内のサニタリ系統に圧縮空気で加圧した海水を溜めておくタンク。自動発停するサニタリポンプにより補給される。
L44	<b>清水圧カタンク (Fresh Water Hydrophore Pressure Tank)</b> 船内の雑用清水系統に圧縮空気で加圧した清水を溜めておくタンク。自動発停する清水ポンプにより補給される。
L45	<b>飲料水圧カタンク (Drinking Water Hydrophore Pressure Tank)</b> 船内の飲料水系統に圧縮空気で加圧した飲料水を溜めておくタンク。自動発停する飲料水ポンプにより補給される。
L46	<b>主発電機用ディーゼル機関 (Main Generator Engine)</b> 主発電機を駆動する4サイクルディーゼル機関。
L47	<b>非常発電機用ディーゼル機関 (Emergency Generator Engine)</b> 主発電機が使用不能となった場合に、必要最低限の主要機器への電力を供給するディーゼル機関。
L48	<b>主配電盤 (Main Switch Board)</b> 主発電機で発生した電気を船内の給電盤や変圧器に給電するために、回路の開閉操作や監視、制御及び保護を行う。同期盤、発電機盤、給電盤から構成される。
L49	<b>非常用配電盤 (Emergency Switch Board)</b> 非常発電機で発生した電気を、最低限必要な機器に給電するために、回路の開閉操作や監視、制御及び保護を行う。同期盤、発電機盤、給電盤から構成される。
L50	<b>主機操縦装置 (Main Engine Control Device)</b> 主機その他の機器をそれらの設置場所又は近傍で直接操縦すること
L51	<b>真空式造水装置 (Fresh Water Generator (Vacume Type))</b> 高真空下で海水を主機ジャケット冷却清水により蒸発させ、これを冷却水（エゼクタポンプからの海水）で冷却・凝縮させることにより蒸留水を精製する。

L52	<p><b>海洋生物付着防止装置 (Marine Growth Preventing System (Yunishel System))</b></p> <p>薬液タンク、制御盤、定量ポンプから構成されている。シーチェスト内に薬液 (ユニシエル) を注入し、シーチェスト内壁や海水管系統にムラサキガイ、フジツボ等の海洋生物が付着することを防いでいる。</p>
L53	<p><b>シリンダオイル計測タンク (Main Engine Cylinder oil measuring Tank)</b></p> <p>シリンダ油の消費量を計るタンク</p>
L54	<p><b>消防/バラストポンプ (Fire / Ballast pump)</b></p> <p>バラストの注排水・ビルジ排出あるいは消火の為に海水を送るポンプ</p>
L55	<p><b>主空気槽 (Main Air Reservoir)</b></p> <p>主空気圧縮機からの圧縮空気を、主機及び主発電機原動機の始動用空気として蓄える。また、この圧縮空気は減圧弁にて減圧され、雑用空気としても使用される。</p>
L56	<p><b>制御空気槽 (Control Air Reservoir)</b></p> <p>制御機器操作用の圧縮空気を溜めておく。</p>
L57	<p><b>主空気圧縮機 (Main Air Compressor)</b></p> <p>主機関、主発電機原動機の始動用空気及び雑用空気として使用される圧縮空気を作り、主空気槽に送る。</p>
L58	<p><b>制御空気圧縮機 (Control Air Compressor)</b></p> <p>制御、計測、操作など制御用に用いる圧縮空気を制御空気槽に送り込む。</p>